

## 【サンケイ折込輸送のSDGsへの取り組み】

### SDGs「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」

SDGsとは経済格差の問題、持続可能な消費や生産、気候変動対策といったすべての国に適用される持続可能な開発目標として、2015年9月の国連サミットで採択された国際目標です。地球上の「誰一人取り残さない」ことを掲げ、貧困や気候変動、海洋汚染など地球規模の課題解決のために2030年までに達成すべき17のゴールと169のターゲットが設定されています。

サンケイ折込輸送ではSDGsの目標達成のため、配送センターならではの取り組みを行っていますが、本日はその中からいくつかご紹介します。

今回ご紹介するのは、リサイクル・資材に加工・運転方法についての3項目です。宅配便によって納品される際の段ボールや、運送時荷崩れないようパレットにチラシを固定するために使われるストレッチフィルム、チラシを束で固定するためのバンドなどを業者に買い取って頂き回収された後再利用されています。



※週に1度回収にきていただいているリサイクル業者の石橋さんにインタビュー  
今回は回収された資源の行方について教えていただきました

## ◆リサイクル



段ボールや、ラベル等を取り外した透明なストレッチフィルムは、回収され再資源化されています。残紙は選別され、ティッシュペーパーやトイレペーパー、ペーパータオルにリサイクルされます。バンドは時間と経費が掛かりますが、バイオ燃料になることもあります。

## ◆梱包資材に加工

100部など少ない量のチラシを梱包するとき、そのまま作業してしまうとチラシが破れてしまう為、段ボールを購入し緩衝材としてチラシを挟んでいました。現在は路線便で納品される際の段ボール等を再利用して適切なサイズに切り分けて梱包作業時に使用しています。



↑この段ボールは、宅急便で納品されるようなものとは異なり、主に路線便で悪天候時に荷物が濡れない為に覆ったり、荷物同士を仕切る目的で使われていたりします。一つの面積が大きく分厚いのが特徴です。

## ◆エコドライブ運転

そのほかに、一般貨物の配送業務を請け負うトラック運転手は、国(警察庁・経済産業省・国土交通省及び環境省を関係省庁とする)が大気環境・自動車対策として普及・推進しているエコドライブ10のススメを実施しています。

エコドライブとは、燃料消費量やCO<sub>2</sub>排出量を減らし、地球温暖化防止につながる”運転技術”や”心がけ”です。交通事故の減らし、燃料消費量が少ない運転は経費削減にも繋がります。

誰でも簡単にできる取り組みですが、日本中がエコドライバーになればCO<sub>2</sub>排出量を約1000万トン減らすことができると言われています。これは東京ドーム4100個分に換算でき、地球温暖化防止につながっています。

<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/ecodriver/point/>

今回調べてみて、段ボールなどは1、2週間に一度の頻度で回収されていますが、かなりの量があって驚きました。改めて、自分の目でこれらが再び資材として活用される流れの一端を確認できて、良い体験になったと思います。

今後もサンケイ折込輸送として貢献できることを模索していきたいです。



【お問い合わせ】

株式会社サンケイアイ【SDGsプロジェクトチーム】

<https://www.sankei-eye.co.jp/contact/>

(当社HPよりアクセスをお願い致します)